



防災訓練 その1

ゆり北

第149号 (14期第7号)

発行・光が丘パークタウン

ゆりの木北自治会

東京都板橋区赤塚新町

3-32-4-403

電話03(3938)9181番

発行責任者 吉柳俊孝

12月15日(日)は大掃除です

恒例の年末大掃除を、自治会・管理組合が協同して行います。ご協力をお願いします。

当日は、午前十時頃より、①各棟の建物の周囲、通路の清掃、②自転車置き場の清掃、③植え込みのなかの空き缶、空き瓶の清掃、④周辺道路の清掃、⑤持ち主不明の自転車の撤去などを行います。

自治会役員、管理組合理事の指図で行いますので、各世帯一名はご協力下さい。清掃用具は自治会で用意をしますが、足りない場合はご家族で使用する「ほうき」をお持ち下さい。清掃終了後には、あたたかいお汁粉を用意しています。

終了は、正午前を予定しています。

不用自転車は各自で処分を

今年度も大掃除に併せて自転車整理を行います。

ご家庭で不用になった自転車は、各自で処分していただきます。大掃除の前までに「粗大ゴミ受付センター」に連絡をして、粗大ゴミ置き場に出して下さい。(有料です。)

「ゆり北シール」の貼っていない所有者の不明なもの、団地外の所有者のものについて撤去し、十一号棟ピロティに集積をします。団地外の所有者には連絡をして引き取ってもらいます。所有者不明のものについて一二月保管後に板橋区に引き渡します。整理した自転車を欲しいとの申出もあります。リサイクルの観点からは活用したいのですが、盗品の疑いのあるものもありますので区に処分をお願いしています。ご了承下さい。

公団の改革で住み

続けられる団地に

公団住宅は政府の住宅政策の一環として、都市の中間所得層に賃貸住宅を供給する目的で設立され、その後分譲住宅や宅地供給を行うなどその守備範囲を拡大して、最近では、市街地再開発事業にも参画しています。

バブルの崩壊になかで、新規賃貸住宅の高家賃による空き家の発生や分譲住宅の売れ残りなどその経営姿勢が問われてきています。また、巨額化するにつれ建設などでの大手ゼ

ネコンとの関係、分譲に傾いた経営方針、建設省などからの天下り人事、独自の系列関連企業の問題なども指摘されています。

現在の公団には、様々な改善すべき問題があり、自治協も指摘していることでもあります。家賃の設定根拠をはじめとした経営関係資料の公開や居住者実態調査の全面公開などは速やかに実現すべきものと考えています。財政投融资資金の高い金利の問題もあります。家賃の中には5%~3%の金利相当分が含まれているとされています。

営利が目的である企業原理の導入では居住者の利益は守れず、都市中間所得層の住宅確保はできません。自治協では、公団の本来の目的である、都市勤労者に対する公共賃貸住宅の供給に立ち返るべきだと主張とともに公団の改革を要求して行きます。

都営住宅などの公営住宅が、低所得層、高齢者層に対象を絞っている現在、国民の「居住権・定住権」を保障するための公団の役割はまだまだ終わっていません。

「火事だー」の言葉にはもう一つの効果があります。暴漢におそれた場合「強盗、どろぼう」たすけて「ではこわがって多くの人はドアを閉めてしましますが『火事だー』の叫びでは殆どの方がとび出して来てくれます。大声を出しましょう。

五・九〇八 野口重則



防災訓練 その2

大声で『火事だー』防災訓練に参加して

「火事だー」と大声をあげながら消火器を抱えて走り操作したつもりですが、他人から見たらどうだったでしょうか。

通報訓練では電話での通報の仕方を体験しました。

消防士の話では本番のときは殆どの方がパニック状態でどこで何が起きているのか正確に伝えられないのが普通だそうです。

私達は一一〇番や一一九番に電話すると近くの警察や消防に通報されると思います。両方とも中央本庁に電話はつながり其処で応対しているのが、どこで起きているのか正確に伝える必要があるそうです。

たとえば、場所については、板橋区赤塚新町三丁目三十二番地と正確に伝えること、また普通の住宅なのか高層住宅なのかは消防車の出動に大変重要な情報だそうです。

おりしも広島で団地の火災がありました。火元が高いところにあったことから梯子車が使えず消火に苦労している様が報道されましたが、初期消火が適切であったならばあんな大事にならなかったのでは、と訓練の直後であっただけに思いを新たにしました。

「火事だー」の言葉にはもう一つの効果があります。暴漢におそれた場合「強盗、どろぼう」たすけて「ではこわがって多くの人はドアを閉めてしましますが『火事だー』の叫びでは殆どの方がとび出して来てくれます。大声を出しましょう。

不審訪問者に注意

最近、五号棟において『自治会の了解を得ているが、テレビの写りが悪いと聞いているので、お宅の受信状態を見せてほしい』といった侵入しようとした事件が発生しました。自治会では、そのような了解をした覚えは全くなく、業者が個人宅にやむを得ず入るような場合は、必ず書面で、事前に通達を出します。このような訪問者があっても絶対に扉を開けないことです。『自治会から連絡を受けていません』とキッパリ断ってください。

粗大ゴミは受付センターに

二三区から出される粗大ゴミの収集申込はいままで管轄の清掃事務所を取り扱ってききましたが、平成八年十一月一日から新たに開設された「粗大ゴミ受付センター」に一本化されました。

申込は、月曜日から土曜日の午前九時から午後五時まで、電話は五二九八・七〇〇〇です。

FAXでも受付つけます。五二九六・七〇〇一です。

住所(団地名も)・氏名・品名・数量・置き場番号(一般ゴミ置き場に表示してある数字)を申告します。粗大ゴミにも、住所・氏名を明記した紙を剥がれないように貼って下さい。

タイヤ・バッテリーなどは粗大ゴミとしても出すことはできません。メーカーか販売店に引き取ってもらって下さい。

十二月は大掃除の季節です。早めに整理して連絡しましょう。

痴漢!?! こんな事件がありました

十月十八日午後六時半、一号棟でこんな事件がありました。

五階の廊下でキョロキョロしている作業服の若い男が目に入りました。エレベーターホールで買物帰りの家内から「男の人、どっちに行った。女子高生は? 変な人がいるの」と言われました。

男に追いつき「どうしましたか、何のご用ですか」と聞くと、その男は「友達の家を探している。光が丘団地の三号棟とか四号棟だといっていた。知らない場所に来たのだからキョロキョロするのは当たり前だろ」と言います。そこで私が「光が丘団地といってもいくつもの団地がある。ここはゆりの木北団地ですよ」というと男は「一体オマエはどういう権利があつて俺にそんなことを聞くのだ、謝れ!」と居直ります。自治会の役員であること名乗って「女子高生のあとをつきまわしている不審な男がいるという通報があつたので、声をかけた」と言いました。

しかしその男は納得せずしばらく論争になりました。

一件納まって男は団地外に退去しましたが、家に帰って家内に詳しく聞くと、十号棟の前あたりから、その男が女子高生の後をつけているのを見た。女子高生がエレベーターに乗るとすぐその男も乗りこんで来た。女子高生が、家内の乗るのを待つ様に「開」のボタンを押していたので一緒に上がった。家内が六階を押して

から、女子高生は安心したように五階を押したといいます。
五階で女子高生は走って逃げ出しましたが、男は後を追うように降りたのです。そしてその後は冒頭に記した様な具合です。

女性の皆さん、危険を感じたら決して一人でエレベーターに乗らない様にして下さい。地域懇談会や役員会で、不審な人に出会ったら「どこをお尋ねですか」と声をかけようと話しあつたばかりですが、どのタイミングでしたらよいのか考えさせられました。

大きいおいも 二十ことれた

二年 前田翔志

きょうおいもほりにいきました。さいしよは、家で、スーパーフアミコンをやっていました。おかあさんが、「きょうおいもほりなのにかないでいいの」と言いました。

ほくは、いそいでよいをししました。すぐに学校のそばの、ろうそくひろばにいきました。まだやくいんのひともいなくて、ぼくと、お母さんが、一番でした。かかりの人がつぎにきました。

あとから、川村さんと、ほりこしさんと二年一組のひらつかさんも、おいもほりにいきました。たてわきくんのおねえさんもきました。そのあとおいもをたくさんとりました。ぼくと、おかあさんで、

会員のひろば

秋の箱根路 心のリハビリ

羅で宿をとる。次の日は、お天気も良く強羅にある箱根美術館で、日本

その日は雨も強くなってきたので姥子から桃源台迄行き芦ノ湖を見て強古陶磁展を見て、その後庭にある茶室でお茶をいただき、その次は湿生花園を見学、芦ノ湖を観光船で元箱根へそして湯元に戻り秋の箱根路は終わったが、昨年8月に私の妹が亡くなり今年の五月に夫の兄も旅立って行った。いつもの旅行ならば現実から離れてのんびりした気分が過ぎてしまうのですが、今回は兄妹を亡くした者の心のリハビリのような、又いつ迄二人で旅行が出来るのかと思いつつ帰路に着きました。

おいもをたくさんとりました。大きいおいもを二十こくらいとりました。いろいろな虫もいました。それからかえるときおかあさんが、おいもを食べました。たのしかったです。

すごく おいしかった

五年 植竹みを奈

私は、十月十九日に、いもほり大会に行きました。最初は大きいものがたくさんとれたけど、大ぜいいたのでしばらくたつと、小さいものしかとれなくなっていました。いもは、大きいのが、小さいのがたくさんとれました。家に帰ってからいもをふかして食べたなら、すごくおいしかったです。いもほり大会は、とても楽しかったのでまた行きたいです。

きつい朝練でも バスケに夢中

中一 浜田祐子

今、私は部活に夢中です、何の部活かというと「バスケット」です。何となく入ったのですが、試合を見るたびに、その気になってしまいました。試合をしている先輩はともかくつよくあこがれてしまいます。一緒にバスケットに入った一年生の中には、前の小学校でミニバスケットというクラブがあり、私達より色々なことがわかっていきます。その分私達始めてバスケットをする者にとっては一生懸命練習し、又部活を休まない様にしないでほしいなと思います。光が丘公園でバスやシュートの練習など、親も一緒に手伝って見てくれます。その成果が出て、私は少しずつ上達

しつつあります。赤三中のバスケット部はとても強く、他の中学から一目おかれています。今は体育館の環境が悪く用意が大変です、来年は新しい体育館になるのでそれをばげみに一生懸命がんばっています。又試合の時などは、お父さんお母さん達の力強い応援をしてくれるので、私達もたのしく思っています。指導してくださる先生方もとても熱心です。でも時々ひどいことも言いますが、それもすべて勝利へ導くためのことであると思います。
今年の夏で引退した三年生も、今は応援に来てくれたり時間がある時には、時々練習を見てくれます。私達もその期待をうらぎらないようにがんばろうと思います。
私は今年ですが、今何が一番きついかというと朝の練習です。でもそれを乗り越えて、私達も区大会で優勝したいです。

「家賃が重い」と九割が回答

自治協アンケート結果まとまる

九月下旬から十月上旬にかけて、

賃貸住宅の居住者の皆様に「団地の生活と住まいのアンケート」を行ってきました。その主旨は、居住世帯の生活実態や住宅についての考え方を調査して、家賃問題・修繕及び環境改善の活動に役立たせるためです。

今回のゆり北団地（賃貸住宅に限る）での調査では、対象三五〇世帯中、回答一九九世帯で、回収率三五％でした。

一、居住世帯

まず居住している年数では、一〇年以上の世帯が半数以上で、今後も住続けたいと希望している世帯が、四分の三を占めていました。

一世帯の人数では、二人と三人が同数で最も多く、次に四人となつて

六〇歳以上の高齢者のいる世帯が全体の約三分の一、特に高齢者のみの世帯が約一割となっています。

二、家賃と消費税

家賃については、「たいへん重い」と「やや重い」を合わせますと約九割の世帯が重いと感じています。特に今後住続ける上で、家賃値上げが大きな問題となっています。

消費税については、ほとんどの世帯が引き上げに反対しています。

三、暮らしの中で気がかりなこと

老後、次に病気・医療、年金・社会保障、地震などの災害そして物価・税金が上がっています。

四、修繕・改良

希望する修繕・改良には、壁クロ

スの張り替え、畳床の取り替え、衛星放送のアンテナ設置、襖の取り替え、結露防止などが上がっています。高齢化社会対策では、浴室・便所への手摺設置、台所・浴室の水道コックをレバーに変更、浴槽の縁を低く幅広く、介護者・来客用駐車場の設置、団地内道路の段差解消などが寄せられました。

五、駐車場について

車の所有については、有・無が約半数ずつでしたが、無しの世帯でも約三分の一が車購入の希望を持っています。

不具合も含めて、何か住宅に問題が生じたときは、ゆり北団地の賃貸住宅を管理している「むつみ台管理事務所」（祝日を除く、月・金曜日の午前九時三〇分～四時三〇分）是非とも連絡して下さい。（電話は三九三八―〇三五五）

住宅対策部・安倍記